

令和元年度 教員表彰について

本年度は、次の2名を表彰選考委員会において表彰候補者として選考いたしました。

【表彰候補者】

No.	氏名	学校名	職名	性別	表彰内容
1	小嶋 智加 こじま ちか	中野島小学校 【H27～】	教諭	女	<p>思春期の難しい課題を抱えた児童、登校渋りや不登校などの困難を抱える児童に対して、児童の話をよく聞き児童理解を深め、児童の不安を取り除く等の心のケアに努めている。</p> <p>また、保護者との連携を様々な工夫をしながら密に図り、問題の改善に向けて工夫した取組を実践している。</p> <p>さらに、児童支援コーディネーターや教務主任、用務員等、様々な人と児童との関わりを大切にし、教職員みんなで児童を見守る体制を築き上げるとともに、きめ細かい支援や配慮、明るい声掛けなどによって、どの児童もクラスに温かく迎えられる環境作りに力を尽くしている。</p> <p>児童指導の校内における研修では、指導・支援の手立てを工夫し、指導による児童の変容、教育的効果を分析する取組を示しており、他の教員に大変参考になるものである。</p> <p>実践力、リーダーシップ等、本教員の取組は、波及効果がある。</p>
2	住吉 幸代 すみよし きちよ	有馬中学校 【H22～】	総括教諭	女	<p>生徒一人一人の気持ちに寄り添った指導法は、校内生徒指導体制の推進・改善の礎となり、学校運営に貢献している。</p> <p>昨年度から生徒指導担当として、学校全体の生徒指導を司り、同時に宮前地区学校警察連絡協議会の事務局としてもその職責を果たす中、川崎市中学校生徒指導部会の常任委員としても活躍し、その取組姿勢は、経験の浅い教員の目標となり、ミドルリーダーの手本となっている。</p> <p>また、地域や関係諸機関の催しや諸会議に積極的に参加することにより、自治会役員、民生委員、保護司、保護者等との関係を構築し、学校と地域をつなぐパイプの役割を果たしている。</p>